

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月23日(木) 10:00～12:00
- 3 開催場所 郡上特別支援学校 大和校舎 作業室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	板倉 寿明	愛知淑徳大学講師
副 会 長	水野 正文	郡上大和総合開発株式会社代表取締役社長
委 員	森藤 文男	郡上市議会議員 (欠席)
	池戸 節子	郡上市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所相談支援専門員
	石田 紀美江	郡上大和総合開発株式会社人事管理部長
	野田 美鈴	社会福祉法人ぶなの木福祉会理事長 (欠席)
	増田 雅幸	郡上市大和町栗巣地域住民
	山田 泰子	郡上市八幡町那比地域住民
	小澤 久美子	卒業生保護者 (欠席)
	小林 伸久	令和7年度PTA会長

学 校 側	守屋 朋伸	校長
	保 義博	副校長
	牧野 康広	事務部長
	上村 篤	教頭
	長井 奈月	小・中学部主事
	金田 麻巳子	高等部主事
	横関 麻衣子	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和7年度前期の学校運営状況、地域活動の報告、学校整備の状況について
 - ・各部の活動紹介
 - ・学校整備の進捗状況の説明

- (2) 学校評価アンケート結果と取組
 - ・概ね良い評価を得ている。

(3) 質疑応答、意見

意見1：小学部の交流及び共同学習を参観し、児童同士のやりとりが良い体験となっている。
体験活動が充実しているので、卒業後や余暇の充実につなげてほしい。

意見 2 : 地域との交流活動は、地域にとってもそこに暮らす大人にとっても大事な場となっていることを実感している。

意見 3 : 学校評価アンケートについて、委員になったばかりの頃は分からないこともあったが、年数を経て徐々に分かってきた。学校が地道に教育内容を伝えている。

意見 4 : アンケート結果の良い評価にとらわれすぎず、結果を受けてどう対応していくかが大事である。

意見 5 : アンケート結果の「わからない」評価は、学校が新たなことに挑戦しているということと捉えてほしい。

意見 6 : 学校が求めるものを企業として支援していきたい。

意見 7 : 学校が一つの校舎になるための話が進み始めたことを嬉しく思う。学校規模を考慮して、関わる人すべてにとって意味のある校舎にしてほしい。期待して見守りたい。

意見 8 : 新校舎ができた後の現校舎の利用も考えていきたい。各校舎は地域にとって、大事な拠点となっている。

(4) 作業製品の価格設定について

- ・昨年度に提案したものと同じ中学部作業製品について価格を確認し、承認を得た。

- ・高等部新製品について、以下の意見が出たが、承認を得た。

意見 1 : 「南天スノーボール」について、「南天」が分かるデザインになるとなお良い。

意見 2 : 「南天スノーボール」の粉のプレミアム感は分かりにくい。

意見 3 : 価格設定は妥当である。次の商品開発につながる意欲となる。

(5) 令和 7 年度後期の学校運営と取組

意見 1 : 道の駅古今伝授の里やまとでの食事メニューの販売は高等部だけが対象か？

⇒今のところ高等部だけを予定している。中学部については、学習の深まりに応じて検討する。

意見 2 : 特別支援学校の教育が、新しい時代の教育を生み出す可能性がある。与えられたものだけではなく、主体的に学ぶことが大事である。

6 会議のまとめ

全委員より後期の学校運営について承認が得られた。前期の学校運営状況や学校評価アンケート結果を踏まえ、各委員から出された意見を今後の学校運営に生かしていくことを確認した。

一校舎体制に向けた動きが再開したことに対し、地域と共に今の時代に即した学校を創ってほしいとの思いを受け取った。